

# 《 健康福祉部 令和6年度予算見積方針 》

(様式1)

## 部内マネジメント責任者

部長 永池 孝志

## 予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

### 【施策全体の方向性、基本的な考え方】

「誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らすことのできるまち」を目指し、健幸都市づくりを進めます。  
 ◆「市の総合政策として部局横断的に取り組み、産学公民が連携して、健幸づくりを進めます。」

健康・医療・保険・福祉の充実を図り、「健幸で安心して暮らせるまちづくり」を進めます。  
 ◆いきいきとした高齢社会の実現に向けた取組と、あんしんできる高齢期の生活への支援を進めます。  
 ◆障害のある人もない人も、共に生きる社会づくりを進めます。  
 ◆地域共生社会の実現に向けて、複合化・複雑化した支援ニーズに対し、関係機関等とともに包括的な支援体制の整備を進めます。  
 ◆「誰もが健康で長生きできるまち草津」を目指し、市民の健康づくりを進めます。  
 ◆生活安定への支援と暮らしの安心の確保に取り組みます。  
 ◆安心して医療や介護のサービスが受けられるよう、各保険制度の適切な運営に努めます。  
 ◆地域の健康課題の解決に向けて、関係機関と連携を図りながら取り組み、地域の特性に応じた健康づくりの支援に努めます。

### 【重点事項】

◆「健幸都市くさつ」の実現に向けて、大学との共同研究事業を継続して実施するとともに、健幸都市づくりに係る情報発信を強化します。  
 ◆働く世代の健康づくりや生活習慣病予防に関する市民への啓発を行い、市民の健康への関心を高める取組を進めます。  
 ◆「認知症があっても安心して生活できるまちの実現」のために、共生・予防の観点の強化を図り、認知症を我が事として社会全体で支える取組を進めます。  
 ◆市民が安心して生活できる地域共生社会の実現を目指し、地域に関わるすべての人と行政が一体となって、総合的に福祉施策の取組を進めます。  
 ◆各種がん検診の受診率向上対策を実施し、市民の受診機会を拡大し、がんの予防、早期発見・早期治療の取組を進めます。  
 ◆経済的な困窮や複合的な課題を抱える市民への総合相談支援の充実を図ります。  
 ◆市民の生活を維持するセーフティネットとして、面接相談や被保護者の就労支援、生活保護制度の取組を行います。

### 【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

「健幸都市くさつ」の実現に向けて、従来の健康福祉施策の枠を超え、市の総合政策として、産学公民が連携して健幸都市づくりを推進します。  
 ◆自由な発想により健幸都市づくり関連事業を企画立案し、部局横断的に健幸都市づくりを推進します。  
 ◆飲食店と連携した食育推進事業等、市民一人ひとりが、健全な食生活を実践できる環境づくりを進めます。  
 ◆健幸フェアやびわこくさつ健幸フェスタなど、楽しみながら健康づくりへの関心が広がるイベント(きっかけづくり)を実施します。  
 ◆健診等のデータからみえる地域ごとの特性に応じた健康づくりの活動を支援します。

## 【見 積】令和6年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		令和6年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	145,605	119,060	○(健康福祉政策課)引き続き、健幸づくりに係る大学との共同研究事業や周知・啓発事業の強化に取り組み、市の総合政策として健幸都市づくりを推進します。 ○(人とくらしのサポートセンター)福祉の総合相談窓口として、多様で複合的な悩み相談や生活困窮者支援の取組を行うとともに、地域共生社会の実現に向けて、複合化・複雑化した支援ニーズに対し、関係機関等とともに包括的な支援体制の整備を進めます。 ○(生活支援課)市民の生活を維持するセーフティネットとして、生活保護制度の適切な運営を行うとともに、相談、申請及び被保護者の増加に対応できるよう、体制強化に取り組みます。 ○(健康増進課)がん検診の受診率向上及び生活習慣病の予防につながる取り組みを進めるとともに、帯状疱疹予防接種の費用助成を行います。 ○(長寿いきがい課)すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるまちの実現に向けて、「草津あんしんいきいきプラン」、草津市認知症施策アクション・プラン」に基づき取組を着実に推進します。 ○(介護保険課)草津あんしんいきいきプラン第9期計画に基づき、適切なサービスの提供に努め、安定的な制度運営を行います。 ○(障害福祉課)障害者の福祉の増進を図るため、日常生活に必要なサービスの支給を行います。 ○(保険年金課)安心して医療サービスが受けられるよう、国民健康保険制度、後期高齢者医療制度、福祉医療費助成制度を適切に運用します。また、各被保険者の健康づくりの取組を進めます。
人とくらしのサポートセンター	74,566	19,494	
生活支援課	1,902,899	505,500	
障害福祉課	3,790,336	1,199,607	
健康増進課	833,686	773,639	
長寿いきがい課	526,783	329,484	
介護保険課	1,615,816	1,534,413	
保険年金課	4,062,310	2,883,824	
合 計	12,952,001	7,365,021	

## 【前年度】令和5年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	134,872	108,127	○(健康福祉政策課)健幸都市づくりに係る大学との共同研究事業等の実施による増、国の下限単価見直しによる福祉バス委託料の増、次期地域福祉計画策定に係る費用の増 ○(人とくらしのサポートセンター)住居確保給付金の扶助費の減、参加支援事業・アウトリーチ支援事業の委託費通年化による増 ○(生活支援課)新型コロナウイルス感染症の影響及び物価高騰による経済状況の悪化による生活保護被保護者の増加を見込んだ生活保護費増額による増、医療扶助オンライン資格確認の実施に係る経費増及びそれに伴う医療事務員の人員費増 ○(障害福祉課)手帳所持者数等の増加に伴う各種給付利用者の増、障害者の重度化等による給付費の増 ○(健康増進課)帯状疱疹予防接種費用助成や子宮頸がん等予防接種料の増 ○(長寿いきがい課)ロクハ荘管理運営費(維持管理工事費等)の減(-7,849千円) なごみの部管理運営費(維持管理工事費等)の減(-140,557千円) ○(介護保険課)ごみ袋無料配布事業費の増、介護認定審査会のペーパーレス化による介護保険事業繰出金の増 ○(保険年金課)受診控えの影響がなくなったことに伴う乳幼児福祉医療助成費の増 中・高校生等への子ども医療費助成を通年実施することによる助成経費の増
人とくらしのサポートセンター	74,099	19,343	
生活支援課	1,868,724	494,110	
障害福祉課	3,417,554	1,074,418	
健康増進課	764,434	695,097	
長寿いきがい課	661,715	310,157	
介護保険課	1,570,297	1,442,877	
保険年金課	3,549,785	2,407,080	
合 計	12,041,480	6,551,209	

## 【増 減】(【見積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
健康福祉政策課	10,733	10,933	○(健康福祉政策課)健幸都市づくりに係る大学との共同研究事業等の実施による増、国の下限単価見直しによる福祉バス委託料の増、次期地域福祉計画策定に係る費用の増 ○(人とくらしのサポートセンター)住居確保給付金の扶助費の減、参加支援事業・アウトリーチ支援事業の委託費通年化による増 ○(生活支援課)新型コロナウイルス感染症の影響及び物価高騰による経済状況の悪化による生活保護被保護者の増加を見込んだ生活保護費増額による増、医療扶助オンライン資格確認の実施に係る経費増及びそれに伴う医療事務員の人員費増 ○(障害福祉課)手帳所持者数等の増加に伴う各種給付利用者の増、障害者の重度化等による給付費の増 ○(健康増進課)帯状疱疹予防接種費用助成や子宮頸がん等予防接種料の増 ○(長寿いきがい課)ロクハ荘管理運営費(維持管理工事費等)の減(-7,849千円) なごみの部管理運営費(維持管理工事費等)の減(-140,557千円) ○(介護保険課)ごみ袋無料配布事業費の増、介護認定審査会のペーパーレス化による介護保険事業繰出金の増 ○(保険年金課)受診控えの影響がなくなったことに伴う乳幼児福祉医療助成費の増 中・高校生等への子ども医療費助成を通年実施することによる助成経費の増
人とくらしのサポートセンター	467	151	
生活支援課	34,175	11,390	
障害福祉課	372,782	125,189	
健康増進課	69,252	78,542	
長寿いきがい課	▲ 134,932	19,327	
介護保険課	45,519	91,536	
保険年金課	512,525	476,744	
合 計	910,521	813,812	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般財源		事業概要
健幸都市づくり推進費 (共同研究)	9,867	4,934		連携協定を締結している立命館大学との間で、令和5年度に引き続き、働き世代を対象とした健康づくりに関する共同研究を行います。開発中である身の健康状態を示す新たな「FOV(Full of vitality)評価法」を基に、心と身体の見える化を図るとともに、FOVを活用した運動プログラムや健康増進事業を研究・開発し、事業化することで、人々の行動変容を促すとともに、個々の状態にあった最適なヘルスケアソリューションの実現を目指します。
健幸都市づくり推進費 (広報・啓発費)	6,920	3,460		若者を中心とした世代への重点的な情報発信を行うため、映画館等で上映する啓発動画の作成やSNSを活用した啓発活動、健幸イベント(くさつ健康ウォークラリー)等を実施します。「健幸都市くさつ」の知名度を向上し、何気ない日常の中で市が進める「健幸都市づくり」に触れる機会を増やし、健幸都市の知名度および市民の主観的健康感の向上に努めます。
带状疱疹予防接種費用助成 事業	31,083	31,083		带状疱疹の発症および重症化を予防するため、带状疱疹予防接種にかかる費用負担の一部を助成します。
(新)医療扶助オンライン資格 確認実施業務	1,611	795		「全世代対応型の社会保障制度」を構築するための施策として、医療扶助においてオンライン資格確認を導入します。 具体的には、生活保護の医療扶助にマイナンバーカードによるオンライン資格確認を導入し、マイナンバーカードによる確実な資格・本人確認を実現するとともに、医療券の発行・送付等の事務を省力化し、利用者の利便性も高めます。また、適正な医療の実施を確保するため、福祉事務所が委託した医療機関を受診する仕組みを維持します。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
健康福祉政策課	38,561	45,414	▲ 6,853	0	0	0	○(生活支援課)医療扶助オンライン資格確認の実施に係る経費増のため ○(健康増進課)風しん追加的対策や带状疱疹予防接種費用助成、子宮頸がん予防ワクチン接種の実施のため ○(障害福祉課)一般行政経費：施設整備補助金、重症心身障害者通所施設運営費補助金の実施 扶助費：訪問系介護給付費、共同生活援助費、接護施設費の増によるため ○(介護保険課)すっきりさわやかサービスの増 ○(保険年金課)中・高校生等への子ども医療費助成を通年実施することによる助成経費、後期高齢者増加に伴う事務費の増によるため
人とくらしのサポートセンター	4,500	8,599	▲ 4,099	2,193	2,149	44	
生活支援課	5,622	6,951	▲ 1,329	491,026	487,627	3,399	
障害福祉課	15,771	52,090	▲ 36,319	911,981	984,452	▲ 72,471	
健康増進課	14,937	151,101	▲ 136,164	553,752	535,876	17,876	
長寿いきがい課	23,807	26,648	▲ 2,841	67,360	67,302	58	
介護保険課	41,191	44,630	▲ 3,439	3,475	3,687	▲ 212	
保険年金課	40,648	41,844	▲ 1,196	732,714	836,872	▲ 104,158	
合 計	185,037	377,277	▲ 192,240	2,762,501	2,917,965	▲ 155,464	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

--